

アレルギー緊急時対応マニュアルの活用方法

<はじめに>

アレルギーを持つ子どもは増えています。

学校や園で、どんなに気を付けていてもトラブルは起こり得ます。さらに、アレルギーが無いと思っている子どもでも、学校や園で初めてアレルギーを起こす事も珍しくありません。

そのような時。誰もが慌てず冷静に対応できるよう、マニュアルを作成しました。マニュアルは「子どもに何か異変が起こる」事からはじまります。アレルギーを疑うだけの場合や軽いアレルギー症状の場合、またアナフィラキシーの場合も対応ができるように作成しています。さらに、学校生活管理指導表の情報がある場合は、「個別対応シート」に必要事項を書き込みイザという時に備えます。個別対応シートには、アレルギーの状況だけではなく、子どもの緊急薬や保護者の連絡先、かかりつけの病院も記載するようになっています。さらに子どもに異変があれば症状をチェックする「症状チェックシート」は、印刷されている症状が出た時にその時間を記入し、チェックが入った場所を見るとその対応が分かるように作成しています。

このアレルギー緊急時対応シートは、施設ごとにみなさんの手で完成させ、是非ご活用ください。

<使い方：3-1 アレルギー緊急時対応マニュアルの完成方法>

シート1：アレルギー緊急時対応／緊急時の役割分担／安静を保つ体位

シート2：エピペン使用の手順／心肺蘇生とAEDの手順／救急車の要請で伝えること
救急車要請欄に施設名、電話番号、住所を事前に記入しておきます。

救急車の要請（119番通報）で伝えること

「アナフィラキシーでの救急要請です！」

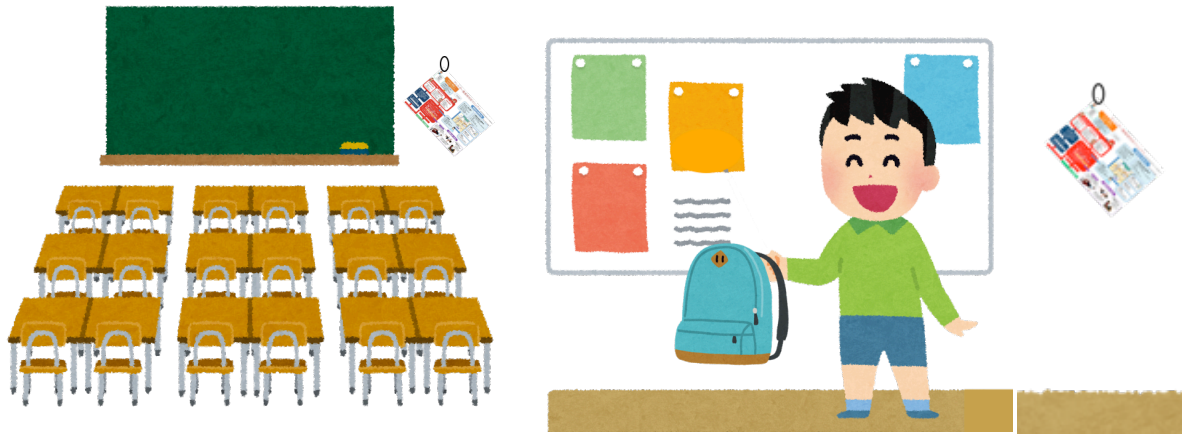
施設名、電話番号、住所 ※事前に記入しておく

〇〇△〇学校 電話番号：087×-×△-××××

住所：香川県〇〇市〇△町×××

シート1・2をA3用紙にカラー印刷後、シート2に必要事項(上記)を書き込み、両表に合わせラミネートします。施設内の全ての部屋に配置。誰もが一目見て分かる場所に置きます。(例：シート角に穴を開けリングを通し、教室の後や前にフックを付け吊るす。)

印刷の用紙は誰もが一目で読む事ができるA3とします。



<使い方：3-2 個別対応シート／症状チェックシート>

・・・個別対応シートは学校生活管理指導表が提出された場合に作成します。その子どもが所属するクラス・職員室・保健室等で子どもがいたずらしない所で誰もが認識できる場所に置いておきます。管理指導表が更新された時や学年・クラス・担任が変わる時もシートの作り直しが必要です。

個別対応シート

※アレルギー疾患指導管理票が提出・更新されたら作成しておきましょう

作成日 26年 4月 10日	作成者名: 校長・担任・養護教諭		
2年 × 組 子どもの名前: 香川県君 担任の名前:			
除去している食物 牛乳・乳製品			
学校名 _____ 住所 _____ TEL _____	最寄りの消防署: 救急車到着までの時間※: 約()分		
※もし救急車を要請した場合、どのくらいかかるのかを最寄りの消防署に聞いておきましょう。			
ニロペンタ あり・なし	(0.15mg・3mg) 緑色 黄色 保管場所 本人のランドセルの中		
薬の種類	薬の名前	1回使用量※	保管場所
抗ヒスタミン薬	(あり/なし) ヨクキククスリ	1袋	本人ポケットの中
ステロイド	(あり/なし)		
気管支拡張薬(内服)	(あり/なし)		
気管支拡張薬(吸入)	(あり/なし)		
※1回使用量は5mg1錠、2.5mg1包などと記載しましょう。吸入薬は1回1吸入などと記載しましょう。			
緊急連絡先	保護者	氏名 香川 太郎 (携帯・自宅・職場) (続柄 父)	090-1234-56×8
	病院	病院名 K病院小児科 (病院代表・小児科受付)	主治医名 _____
		子どもの患者ID番号※ 087-1234-5678	
		病院名 _____ (病院代表・小児科受付)	主治医名 _____

※保護者にきいて記載しておけば、学校から病院に連絡する場合に役に立ちます。

(個別対応シート記載の緊急連絡先病院は搬送病院という意味ではありません。)

・・・症状チェックシートは、アレルギー症状を5分毎にチェックし、記載するシートです。症状のチェック欄の下には対応を記載しており、症状に合わせた対応を示しています。

・・・個別対応シートが作成されていない子どもでもアレルギー症状をきたす事があります。そのため、個別対応シートに記入の無い物も、全ての部屋に準備する必要があります。

子どもの命を守るための準備です。みなさんよろしくお願ひします。